



Nuclear Free Now

脱原発世界会議 2

2012.12.15(土)

2012.12.16(日)

東商ホール (定員各500名)	イノカンファレンスセンター (定員各200名)		東商ホール (定員各500名)
<p>テーマB(チェルノブイリから学ぶ)① 『低線量被ばくとIAEA・WHO』</p> <p>チェルノブイリ事故による低線量被ばくの健康影響について、国際原子力機関(IAEA)や世界保健機関(WHO)と、チェルノブイリ被災地の医師や研究者の間で評価が大きく分かれているのはなぜでしょうか?チェルノブイリ事故の影響について長年研究に携わってこられたゲストのお話を聴きながら考えます。</p> <p>【ゲスト】 阪上武(福島老朽原発を考える会) アレクセイ・ヤブロコフ(ロシア科学アカデミー) 中手聖一(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク) 吉田由布子 (「チェルノブイリ被害調査・救援」女性ネットワーク) 渡辺瑛莉(FoE Japan)</p>	<p>テーマA(原子力を規制する)① 『どこか変だよ、今の原子力規制』</p> <p>福島原発事故という犠牲を払って、ようやく原子力規制が推進から分離・独立しました。原子力規制委員会が発足して3カ月。規制委員会は市民が満足する活動を行っているのか?日本の現状と各国の規制とを比較しながら考えます。</p> <p>【ゲスト】 満田夏花(FoE Japan) 後藤政志(APAST) ポール・ガンター(ビヨンド・ニュークリア、米国) クリストフ・ピストナー(エコ研究所、ドイツ) ソニー・ヒョンリム(グリーンピース韓国) 伴英幸(原子力資料情報室)</p>	<p>10:00 12:00 開場 09:30 入場締切 9:40</p>	<p>テーマC(脱原発社会のつくり方)③ 『原発を止めた人たち』</p> <p>これまで市民の活動が、数々の原発を止めてきました。これから原発ゼロを実現していくのも、市民活動の力です。原発建設を止めた日本の運動、イタリアやリトアニアの国民投票、韓国や台湾の運動、そして原発輸出を止める活動を実践している人たちと出会い、学びましょう。</p> <p>【ゲスト】 松浦雅代(原発がこわい女たちの会) モニカ・ソツベ(レーガンビエンテ、イタリア) アンドレイ・オザロフスキー(ペローナ、リトアニア) キム・ヘジョン(環境運動連合、韓国) ライ・ウェイチー(台湾緑色公民行動連盟) 小笠原厚子(あさこはうす) 石地優(ブルサールを心配するふつうの若狭の民の会) 清水敏保(上関原発を建てさせない祝島島民の会)</p>
<p>テーマC(脱原発社会のつくり方)① 『「原発ゼロ」へ 政府と政治がやるべきこと』</p> <p>政府が出した「原発ゼロ」方針をなし崩しにさせてはいけません。ドイツが今行っていることに学びながら、脱原発法の制定、原発立地の地域対策と雇用対策、電力コスト分析等々、政府と政治がやるべきことと、そのために私たちにできることを考えます。</p> <p>【ゲスト】 金子勝(経済学者) 河合弘之(脱原発法制定全国ネットワーク) ミランダ・シュラース(ドイツ政府環境諮問委員会委員) アイリーン・美緒子・スミス(グリーン・アクション)</p>	<p>テーマA(原子力を規制する)② 『原子力規制への 市民の提言』</p> <p>原子力の安全を確保するには何が求められるのか?新しい安全基準作りを進めている規制委員会に対して、A①セッションの議論を深めながら、組織のあり方、基準の内容などさまざまな視点で、市民側からの提言をまとめます。</p> <p>【ゲスト】 満田夏花(FoE Japan) 後藤政志(APAST) ポール・ガンター(ビヨンド・ニュークリア、米国) クリストフ・ピストナー(エコ研究所、ドイツ) ソニー・ヒョンリム(グリーンピース韓国) 伴英幸(原子力資料情報室)</p>	<p>13:00 15:00 開場 12:30 入場締切 12:40</p>	<p>テーマC(脱原発社会のつくり方)④ 『自然エネルギーと 分散型社会への道筋はこれだ』</p> <p>コミュニティの力を生かして、再生可能エネルギーを発展させ、地域に雇用も生み出す「分散型社会」。それを実現するための具体的な道筋を数々の実践例から学びます。消費者、主婦、学生、学者、熟練工、行政職員、企業、労働組合、議員、活動家、弁護士、さまざまな役割が必要とされています。</p> <p>【ゲスト】 トーマス・ブリュアー(グリーンピースドイツ) ウヴェ・フリーシェ(国際持続可能性分析戦略研究所、ドイツ) 古屋将太(環境エネルギー政策研究所) 加藤憲一(小田原市長) 山田幸司(エネシアマダガ) 松下照幸(森と暮らしの倶楽部)</p>
<p>テーマB(チェルノブイリから学ぶ)② 『放射線防護のための 被災者支援のあり方とは』</p> <p>チェルノブイリ事故後現地では何が起り、現在に至るまでの現地の人々の健康被害はどのようなもののでしょうか?日本版チェルノブイリ法と言われる「子ども・被災者支援法」の基本方針がいま策定されようとしています。チェルノブイリの経験から学び取り、今後必要とされる支援のあり方について考えます。</p> <p>【ゲスト】 満田夏花(FoE Japan) アンゲリーナ・ニャーグ(「チェルノブイリの医師」協会) 中手聖一(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク) 阪上武(福島老朽原発を考える会) アレクセイ・ヤブロコフ(ロシア科学アカデミー) 山田真 (子どもたちを放射能から守る全国小児科医ネットワーク) 吉田由布子 (「チェルノブイリ被害調査・救援」女性ネットワーク)</p>	<p>テーマC(脱原発社会のつくり方)② 『日常のモヤモヤから政治へ 一手をつなぐ女たち』</p> <p>原発をなくすには女性の力が必要だ。世論調査では常に男性より多くの女性が原発ゼロを望んでいる。けれど議会や選挙に期待できないとか、デモは政治と思われてないとか。そんなモヤモヤが政治につながることを語りあいます。 ※「福島・水俣・レスキューーズ」上映(小淵真理さん「福島アウシュヴィッツ平和博物館」他取材協力)</p> <p>【ゲスト】 上野千鶴子(ウイメンズ アクション ネットワーク) ミランダ・シュラース(ドイツ政府環境諮問委員会委員) 松浦雅代(原発がこわい女たちの会) 橋本典子(上関原発を建てさせない祝島島民の会) アミー・クロンブラド(スウェーデンの女性組織リベラル・ウーマンの元メンバー、元地方議員) 寺町みどり(「市民派政治を実現するための本」共著者) 今大地はるみ(福井県数賀市議) 植田真紀(元香川県高松市議)</p>	<p>16:00 18:00 開場 15:30 入場締切 15:40</p>	<p>まとめの会 『できる！ つくろう原発のない社会』</p> <p>2日間の世界会議のまとめの会です。各セッションの成果を聞き、次の行動を考えます。福島からは「原子力安全関係会議」で何が起きているかの報告を受けます。女性と男性、若者と年配、専門家と素人、地域や国境など、あらゆる境をこえて、皆が手をつなぎ、原発のない社会をつくるために一歩踏み出しましょう。</p> <p>ビデオメッセージ: ジョディ・ウィリアムズ(ノーベル女性イニシアティブ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ユース企画「We are the change 未来は一人ひとりから」 ●各セッションからの報告 ●福島から ●次の行動へー世界への呼びかけ <p>発言者: マイケル・シュナイダー(エネルギー政策コンサルタント) 藤波心(タレント・高校生) 吉岡達也(ピースボート) ミサオ・レッドウルフ(首都圏反原発連合) 佐藤栄佐久(前福島県知事)</p>

「脱原発世界会議2」ご参加いただくには、チケット(有料)が必要です。
日程を選択して、お申し込み下さい。

チケットのお申込みはこちら <http://npfree.jp>

- 前売り券 ※販売は12/14(金)まで。
セッション指定券(1,200円) :各セッションごとに販売します。
東商ホール12月15日券(3,000円) :12月15日に東商ホールで開催されるすべてのセッションに有効の券です。
東商ホール12月16日券(3,000円) :12月16日に東商ホールで開催されるすべてのセッションに有効の券です。
- 当日券
当日券(1,500円) :当日に空席がある場合にかぎり、空席の分だけそれぞれのセッションの開始20分前に各会場で販売します。



Nuclear Free Now

2012.12.14(金)-16(日)

東京 12.15(土)-16(日)

これからのエネルギーと環境を考える
市民ひろば

日比谷公園
(噴水を中心としたエリア)

入場: 無料

時間 10:00 ~ 16:00

■ソーラー発電野外ステージ■

出演者:

12月15日(土)
制服向上委員会
Likkle Mai
難波章浩
陸前高田から(八木澤商店)
PEACE&GREEN BOAT 2012
ほか

12月16日(日)
浜さくらズオーケストラ
佐藤タイジ
RANKIN TAXI
宮台真司
石巻から(PB災害ボランティアセンター)
ほか

■Green Market!■

自然エネルギー展示
被災地からの出展
ふくしまのひろば
ブース展開(NGO/NPO&企業出展)
フェアトレード・マーケット
ナチュラル・マーケット
子どものひろば/キッズグリーン

■Workshop Tent!■

蛤浜再生プロジェクト
ピースポート
地球の子ども新聞
上関どうするネット
ほか

※出演者・出展内容は変更される場合があります。

東京 12.15(土)

さようなら原発世界大集会

日比谷野外音楽堂

入場: 無料

12:00 開場

13:00 開会

14:15 閉会

14:30 「脱原発世界大行進2」
出発

東京 12.15(土)

みんなのもんだい。
じぶんのもんだい。

日比谷野外音楽堂

入場: 無料

時間 15:30 ~ 17:00

出演者:

松田美由紀
岩井俊二
岩上安身
マエキタミヤコ
FRYING DUTCHMAN

東京 12.15(土)

脱原発世界大行進2

日比谷公園
(中幸門集合)

1日も早い「原発0」を実現するために、
声をあげていきましょう。
どなたでもお気軽にご参加ください。

14:30 出発

- ・雨天の場合は両具のご用意をお願いします。
- ・予定は変更する場合がありますので、HPでご確認をお願いします。
- ・なるべく反原発・脱原発というテーマに関する旗やのぼり、プラカード等でご参加ください。
- ・特定の団体や宗教団体による参加者への勧誘に準ずる行為はご遠慮ください。
- ・デモ出発場所では混雑が予想されるため、ピラ配布や署名集め等はご遠慮ください。
- ・スタッフの誘導にしたがって動いて下さいませようご協力をお願いします。
- ・その他、基本的に主催者の指示に従っていただきますようあらかじめご了承をお願いします。

福島 12.15(土)

脱原発をめざす首長会議

郡山市 労働福祉会館

時間 13:00 ~ 16:30

「脱原発をめざす首長会議」は、「脱原発世界会議 2012 YOKOHAMA」がきっかけとなって、2012年4月に発足しました。2012年9月26日現在、全国36都道府県80名(元職11名含む)の市町区村長が参加しています。「原子力安全に関する福島閣僚会議」が開催されるのに合わせて、以下の概要で勉強会が開催されます。

※一般傍聴も可能。詳しくは⇒
<http://mayors.npfree.jp>

福島 12.14(金)-16(日)

フクシマ・アクション・プロジェクト

福島県 郡山

12月15~17日、日本政府と国際原子力機関IAEAの共催により「原子力安全に関する福島閣僚会議」が郡山市のビッグパレットふくしまで開催されます。何が起ころうとしているのか、きちんと市民が知って、学んで、声をあげる必要があります。そこで、福島ではフクシマ・アクション・プロジェクトが立ち上がり、Nuclear Free Nowと連携し、勉強会、閣僚会議へのアクションやIAEAへの申し入れを行います。ぜひ郡山に集まってください。

お問い合わせ

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場3-13-1 B1ピースポート内
「Nuclear Free Now」事務局
Tel: 03-3363-7561 Fax: 03-3363-7562 mail: office@npfree.jp
担当: 越智・小鍋・市塚

Nuclear Free Now